

Yumeken

秋

2016 Vol.684

◆特集○話題の焦点

建設業が元気になる『担い手三法』が目指すもの。

◆夢インタビュー

小さな文具店を出会いや交流の場に

◆第22回夢けんせつフォトコンテスト

受賞作品紹介

◆おじゃまします

株式会社 吉野組



建設業が元気になる 『担い手三法』が目指すもの。

「担い手三法」ということばを耳にしたことはありますか？
ことばとしては知っていても、その内容を詳しく理解している人は少ないかもしれません。
今回の特集では、建設業の担い手確保を目的に掲げた、画期的な変更と言われる「担い手三法」について取り上げ、この法律が目指す将来の建設業の姿を考えていきます。



品確法

公共工事の
品質確保の促進

担い手三法

入契法

公共工事の
入札契約
適正化

建設業法

建設工事の
適正な施工確保と
建設業の健全な発達

適正な発注額と適正な受注契約で
企業経営に健全な利潤をもたらし、
インフラの品質確保と担い手の育成を実現する

三位一体の法改正が目指すもの
～公共工事の品質を守り、
建設業の担い手を育てる～

平成26年5月29日、第186回通常国会にて、「担い手三法」の改正法案が成立し、平成27年4月より、公共工事の発注者においてその運用が開始されました。

担い手三法とは、インフラ等の品質確保とその担い手確保を実現する法律であり、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」：品確法を主体とし、それに密接に関連する「公共工事の入札および契約の適正化の促進に関する法律」：入契法と「建設業法」を指します。

湖国 街かど ウォッチング

新しい施設や街の話題をレポートするコーナーです。



地元産の農産物や特産品を販売する直売コーナー

道の駅 浅井三姉妹の郷(長浜市)

茶々、初、江の浅井三姉妹ゆかりの地に新しく誕生した「道の駅 浅井三姉妹の郷」。昨年、旧東浅井郡の湖北町・浅井・虎姫の3商工会が合併して、東浅井商工会が発足したのに合わせて、総事業費約2億1000万円をかけて整備されたものです。

商工会の管理・運営による道の駅は全国で初めてとなるもので、地産地消の促進などに積極的な「道の駅」の設置を国土交通省が支援する、重点「道の駅」にも選定されました。



来年3月には正式に道の駅となる「浅井三姉妹の郷」

共同販売施設として、地元産の新鮮な農産物や東浅井地域の特産品を直売するほか、「自分の店を持ちたいが、実際に店舗を持つのはまだ自信がない」「新製品をテスト販売してみたい」という、起業や商品開発をサポートする「チャレンジショップ」コーナーが設けられているのが特徴です。



ジャージー牛乳のジェラート380円



自家製ジェラートを販売する「三姉妹ジェラート」



起業や商品開発をサポートする「チャレンジショップ」

「自然薯茶屋 浅井家」では、自然薯と旬の食材を使った東浅井地域の郷土料理を盛り込んだミニ懐石や、ところそほを提供しています。自然薯を新たな湖北の特産品としてPRし、栽培農家を育てていくことで、地域の活性化や雇用促進につなげるのが期待されています。

平成29年春には小谷城スマートインターも開通予定で、今後、24時間使用可能なトイレなどを整備して、来年3月には正式に道の駅として供用を開始する予定です。



自然薯を使ったミニ懐石「お市御膳」1,480円

長浜市内保町212 TEL.0749-74-1261
●物販施設
9:00～19:00 年中無休(年末・年始を除く)
●レストラン
平日 11:00～14:30(ラストオーダー 14:00)
土・祝日 11:00～19:00(ラストオーダー 18:30)

CONTENTS

湖国街かどウォッチングの郷 道の駅 浅井三姉妹の郷	2
特集・話題の焦点 建設業が元気になる 「担い手三法」が目指すもの。	3
第22回 夢けんせつフォトコンテスト 受賞作品紹介	6
おしゃまします 株式会社 吉野組	12
夢インタビュー 小さな文具店を出会いや 交流の場に 佐々木文具店店主 岡田友美さん	14
ビジネス最前線 「湖国食文化」の 普及をめざして 「琵琶湖八珍」 マイスターに登録	15
夢けんひろば 「仕事の達人・遊びの達人」…… 充実したオフを求めて サックスや第九にチャレンジ 谷口 稔 クイズ	16
近江うまいもの紀行 編集後記	19
表紙写真 「安心安全」寺尾 幹男 「波紋」奥村 和弘	18

担い手三法の改正ポイント

予定価格の適正化

最新の市場単価の反映
施工の実態を反映した工期の適正化
発注・施工時期の平準化

多様な入札契約方式の活用

民間の優れたノウハウを生かす
「技術提案交渉方式」
評価が一定水準以上の参加者を選抜する
「段階的選抜方式」
地元で詳しい中小企業への
安定受注を推進する
「地域社会資本の維持管理に資する方式」

解体工事業の新設

実務経験や有資格者の配置を義務化
大きな公衆災害の予防

ダンピング受注の防止

見積りせず入札する不良・不適格業者の排除
入札時に内訳書の添付を義務化
正当な建設業者への適正な利潤を確保

施工体制台帳作成の範囲拡大

現場の責任者である管理技術者の明確化
作業の責任者である主任技術者の明確化
適正な施工が実施できる体制の判断

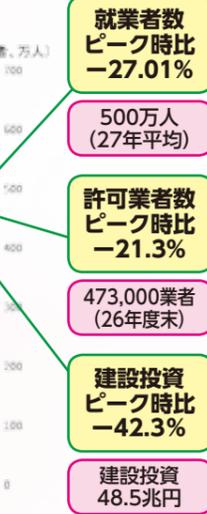
担い手確保・育成への取組強化

技術者・技能者に対する講習・研修
建設労働者の就労環境改善
若年者や女性の入職促進活動

反社会的勢力の徹底排除

許認可取り消し事由の強化
欠格要件となる適用範囲の拡大
あらゆる公共事業からの徹底排除

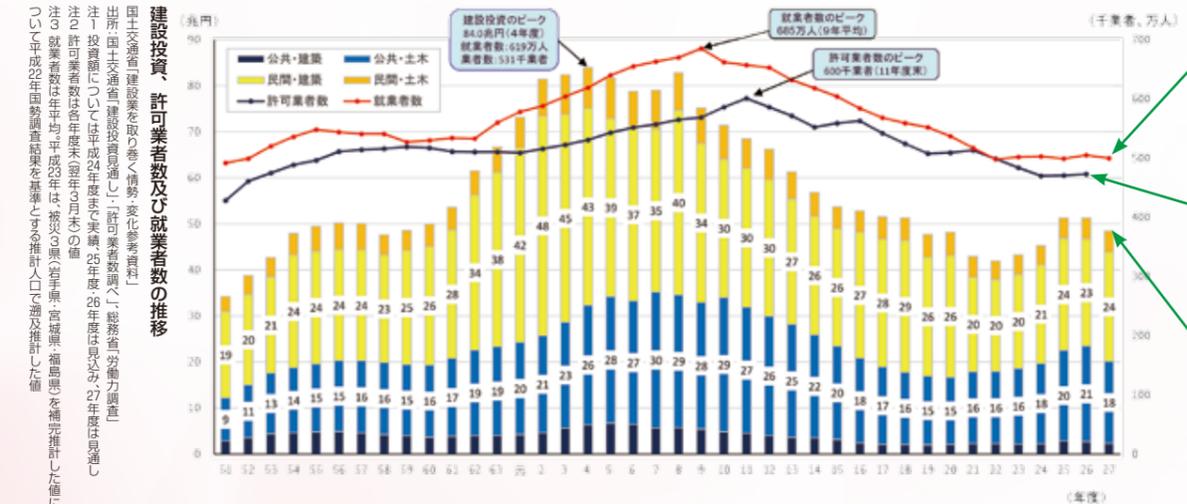
建設業の経営が悪化すると
工事の質が下がり、
若い働き手がいなくなる



その結果、経営環境の悪化は下請け業者へも影響し、建設業界全体の技術者・技能者の給与低下や労働時間超過といった就労環境の変化を招きました。

更に、建設工事現場で発生する様々な事故やトラブルが大きく報道されるなどにより、将来の見通しが厳しい、魅力が感じられない、労働の割りに処遇が悪い、といった理由で、建設業に入職を希望する若者が減少していきま

かつては、親方がじっくり時間をかけて技術者や技能者を育成してきましたが、コスト競争の激化により人を育てる余裕もなくなり、現在は若年就業者の離職が多く、技術者・技能者ともに急速な高齢化が進んでいます。



生産性向上に向けての取り組み

今後、労働人口が減少しても社会資本整備が効率的に行えるようにするため、国土交通省では建設業の生産性向上に取り組む方針を打ち出しました。

注目されているのは、チルトセンサーやGPSを用いた建設重機制御の高度化による省人化、現場の施工情報をリアルタイムに一元管理するi-Construction（情報化施工）で、繰り返し作業の精度向上や無人化施工を実現する建設ロボットの導入、インフラ整備に関する情報の共有と活用による施工管理の合理化を主軸とし、企業経営の改善・労働者の賃金水準向上・安全性の飛躍的な向上を目指すものです。

そのほかにも、ロボット技術や、工場製品を活用したプレキャスト化による施工の省力化などの導入・普及に向けて、各地で取り組みが始まっています。

滋賀県建設業協会でも、i-Constructionの導入に向けた動きが始まっています。協会会員の中でも、試掘で取得したデータをもとに構成した3Dモデルを活用して、施工打ち合わせなどを活用しているケースもあります。また、協会青年部の主催によるi-Construction講演会が開催された際には、多くの技術者が最新情報の共有を図る姿が見られました。



(画像提供: 株式会社桑原組)

建設業が元気になれば
未来を担う若者が育ち、
地域が活気づく

「担い手三法」の遵守により、発注者が適正な予定価格の設定と多様な入札契約方式の導入、加えてダンピング受注の防止といった責務を負うことになり、建設企業への適正な利潤が確保されることとなります。

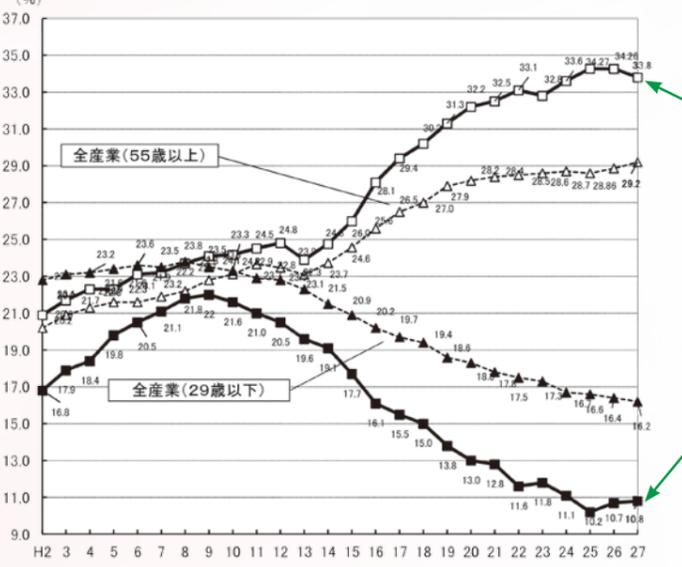
また、受注者は、適正な請負契約の締結や施工体制の把握により、元・下請取引の適正化と就労環境の改善といった責務を負うとともに、技術者・技能者の確保・育成による、現在から将来にわたる公共工事（インフラ）

発注者・受注者がこれらの責務を全うすることで、元請け企業が適正な利潤を確保し、それによる公共工事（インフラ）の品質・安全の向上、技術者・技能者の育成と給与や労働時間といった処遇の改善、下請業者や孫請け業者まで適正に潤う正しい経済循環を形成することが可能となり、地域の安心・安全・快適を担い、地域経済の下支えを担う建設業界の健全な姿を取り戻すことが期待されています。

の品質と建設工事の安全確保の責務を負うこととなります。

一方で、各地で頻発する自然災害からの復興や、トンネルの天井崩落事故といったインフラの老朽化などで補強・補修工事といったニーズは拡大しており、建設業界の次世代の担い手不足は「待ったなし」の状況になっています。

大きな災害が発生した時、即座に現場へ駆けつける技術者も、その後の復興を担う技術者も、圧倒的に不足しているのが現状なのです。



工事価格の適正化や
ダンピング受注の防止
担い手の確保や育成を後押し

今回の改正では、建設会社が適正な利潤を得られる仕組みを作って、経営体力を維持できるようにすることで、建設業の担い手を確保し、中長期的に育成できるように、「目的と基本理念の追加」「発注者責務の明確化」「多様な入札契約制度の導入・活用」がポイントになっています。具体的には左記のような改正点があげられます。

建設業労働災害防止協会滋賀県支部長賞
「チームワーク」 河田 和子 [滋賀県]



電柱、電線、作業する人達をアップに捉えながら、爽やかな空の下、高所作業の様子を端的にまとめました。

優秀賞



滋賀労働局長賞
「ご安全に！」
中村 薫 [滋賀県]

ヘルメットを着装し始業前の体操は狭く限られた場所。一日の安全を願い体を慣らす表情は見えないが息の合った雰囲気伝わってきます。



独立行政法人勤労者退職金共済機構建退共滋賀県支部長賞
「いわき復興へ」 門林 泰志郎 [福島県]

ワイヤーに乗り込みながらの作業は不安定、備かに入れた鉄塔で高所での作業をよく表現し、澄み切った青空が作業する人を浮き立てました。

U22 特別賞



夢けんせつフォトコン実行委員会 委員長賞
「美しく丁寧に」 則武 咲良 [岐阜県]

水糸に合わせ黙々と丁寧に積んでいく。横顔ですがその真剣なまなざしが感じられます。

特別賞



BBCびわ湖放送株式会社賞
「作業お疲れ様」 藤井 正人 [滋賀県]

作業が終わり満足感が笑顔に。とても爽やかな皆さんの表情がよく、道路を遠くまで見える画面のつくりがよい。

PHOTO 第22回 CONTEST 入賞作品

●審査員/滋賀県写真連盟 会長:澤野 二郎 並びに主催者

- 主催/一般社団法人滋賀県建設業協会
- 後援/滋賀県、滋賀労働局、公益社団法人滋賀県建設産業団体連合会、西日本建設業保証株式会社滋賀支店、滋賀県建設業協同組合、一般社団法人滋賀県土木施工管理技士会、建設業労働災害防止協会滋賀県支部、独立行政法人勤労者退職金共済機構建退共滋賀県支部、びわ湖放送株式会社、株式会社SIN
- 協賛/滋賀県写真連盟、滋賀県カメラ材料商組合、フジカラープロフェッショナルラボ(株)トミカラー

第一部
「建設業にはたらく人々」
第二部
「建設物がある滋賀の風景」

	応募者数	応募点数	第一部	第二部
総数	170人	285点	137点	148点
内訳	県内	105人	60点	121点
	県外	65人	77点	27点

入賞作品展のお知らせ

入場無料

- 10月23日(日) 滋賀けんせつみらいフェスタ
大津港業務用地 (滋賀県大津市浜大津五丁目5-1)
- 平成29年4月中旬頃 愛荘町立愛知川びんてまりの館
(滋賀県愛知郡愛荘町市1673)

審査後記

滋賀県写真連盟会長 澤野 二郎

昨年より応募者は多くなりましたが、作品数が少し少なくなったのは残念でした。北海道から九州まで、全国各地からご応募をいただきました。限られた場所での撮影は難しく、偶然の出会いでなく新しい場所を見つけ時間を選ぶなど、作品創作の努力がうかがえました。昨年も触れましたが、アップにし過ぎて作業環境や高所での作業の高さなどが見えない作品もあり惜しいと感じました。視点がしっかりとした作品、少し雰囲気違った作品が上位に入りました。

第一部「建設業にはたらく人々」

(デジカメ・カメラ可)

グランプリ

滋賀県知事賞
一般社団法人滋賀県建設業協会会長賞
滋賀県写真連盟会長賞
「安心安全」 寺尾 幹男 [滋賀県]



評

舞妓さんを安全に誘導。背景の家並みで花街を上手く表現し、作業する人、通行人の安全を守る人、それぞれの仕事ぶりをよい角度で捉え見事なチームプレーを表現しました。

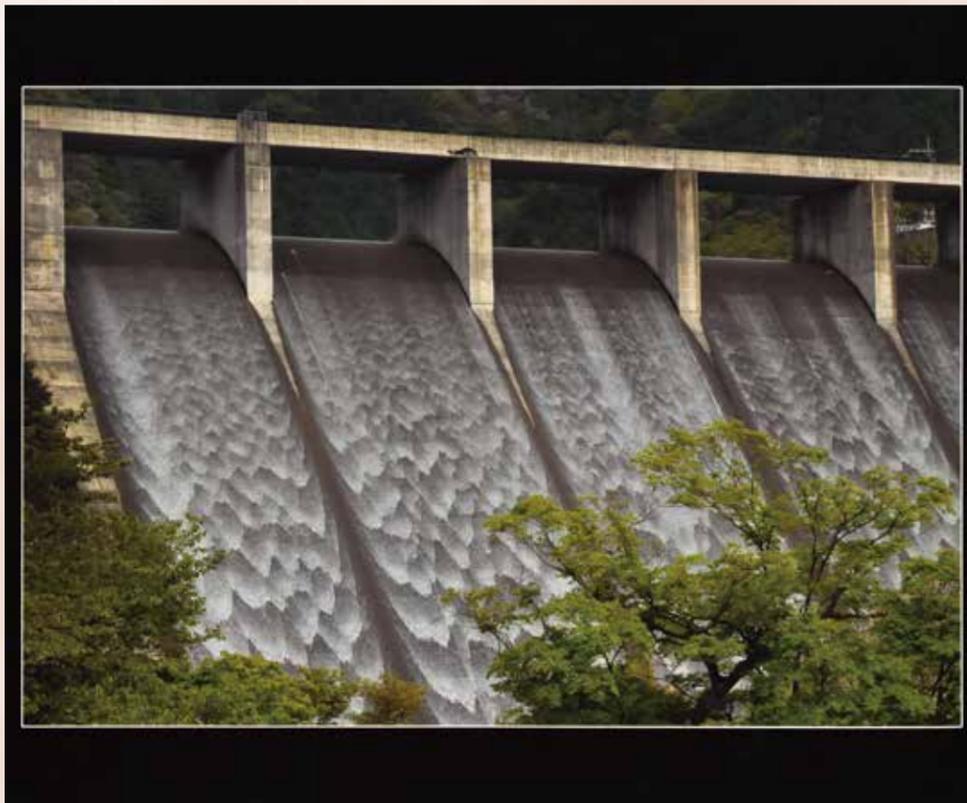
第二部「建設物がある滋賀の風景」

(デジカメ・カメラ可)

滋賀県知事賞
一般社団法人滋賀県建設業協会会長賞
滋賀県写真連盟会長賞

「波紋」奥村 和弘 [滋賀県] <滋賀県甲賀市>

グランプリ



評

流れ出す水の動きを高速シャッターで美しくまとめ、同じような波紋ですが微妙に変化があり臨場感があり、流れの音が聞こえてきます。

優秀賞



西日本建設業保証株式会社滋賀支店長賞
「うぐい川桜吹雪」
奥居 由紀夫 [滋賀県] <滋賀県甲賀市>

評 一面に花びらが舞う。兩岸の素晴らしいさくらが創りだした瞬間を見事に捉えた秀作です。



滋賀産業新聞賞
「朝陽浴びて」
岡田 健司 [滋賀県] <滋賀県甲賀市>

評 道路の奥の山々の重なり、明け行く静けさと動き出す車の活気。静と動が織りなす素晴らしい朝の景にまとめました。

入選

「文化財修理」
杉浦 幸雄 [愛知県]



「父子鷹」
佐藤 みゆき [福島県]



「忙中閑有り」
西村 忠員 [滋賀県]



「安全な橋を」
谷津 和正 [静岡県]



「連携プレー」
上杉 裕昭 [三重県]

「共同作業」
水島 脩行 [千葉県]



「最後の仕上げは俺に任せろ！」
森 智治 [滋賀県]

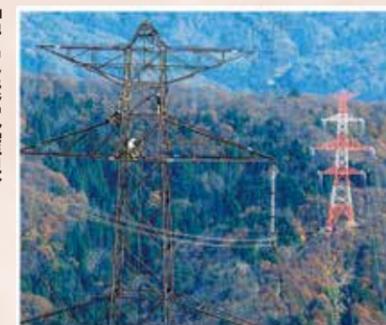


「前進注意よし」
佐藤 博 [埼玉県]

「ブルーシート」
太田 誉 [岩手県]



「安定送電確保」
矢野 助夫 [滋賀県]



奨励賞

「雪かき終わらない!!」
疋田 浩一 [滋賀県]



「自然に架ける橋」
堀 三起夫 [滋賀県]



「橋げたを架ける」
仲川 幸延 [愛媛県]

「完全装備」
島 秀紀 [滋賀県]



「傘の花咲く工事現場」
針尾 亮範 [熊本県]



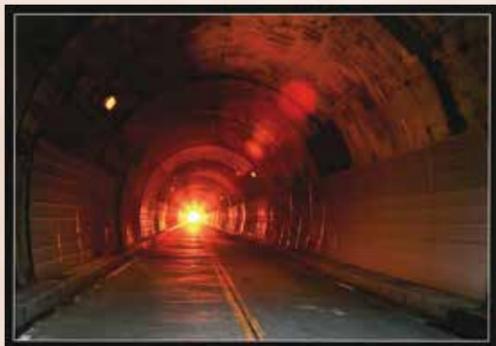
「琵琶湖大橋の朝」
瀬戸口 初男 [滋賀県]
〈滋賀県大津市〉



「夕照」
青木 宏樹 [滋賀県]
〈滋賀県米原市〉



「深紅に染まるトンネル」
清水 一司 [滋賀県]
〈滋賀県甲賀市〉



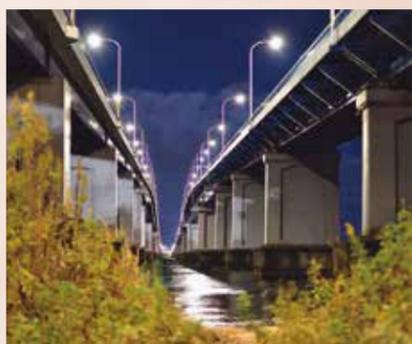
「アートなトンネル」
池田 孝保 [滋賀県]
〈滋賀県甲賀市〉



「幸せ一粒」
佐伯 俊次 [滋賀県]
〈滋賀県大津市〉



奨励賞



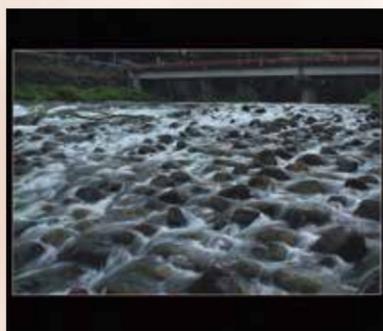
「橋のたもとの別世界」
中村 考利 [京都府] 〈滋賀県大津市〉



「春の沖島漁港」
村山 哲哉 [滋賀県] 〈滋賀県近江八幡市〉



「里寺深秋」
木下 正治 [京都府]
〈滋賀県大津市〉



「初夏の流れ」
高村 利和 [滋賀県] 〈滋賀県東近江市〉



「朝陽」
塚本 純香 [滋賀県] 〈滋賀県東近江市〉



公益社団法人滋賀県建設産業団体連合会長賞
「茜色の稲荷大橋」福田 尚人 [滋賀県] 〈滋賀県守山市〉

評 夕日に照らされた橋を大きくあしらいながら、川原のススキの穂が、季節をよく表現し、比叡山で位置表示など上手くまとめました。



滋賀県建設業協同組合理事長賞
「蛍舞う清流」矢野 暢英 [滋賀県] 〈滋賀県甲賀市〉

評 遠くの木立、美しい川の流れを大きく入れながら、蛍舞う様子とよくマッチさせました。

入選

「地底からの眺め」
杉立 好正 [滋賀県]
〈滋賀県大津市〉



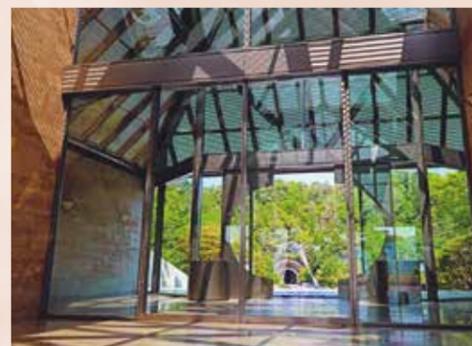
「早朝の伊庭内湖」
谷田 守 [滋賀県]
〈滋賀県東近江市〉



「闇に浮かぶ」
強力 美津雄 [滋賀県]
〈滋賀県守山市〉



「硝子のへや(建物)」
辻 辰雄 [滋賀県]
〈滋賀県甲賀市〉



「光る城」
新海 正男 [滋賀県]
〈滋賀県彦根市〉



特別賞



BBCびわ湖放送株式会社賞
「門前通り」
近野 和彦 [滋賀県]
〈滋賀県長浜市〉

評 高所からの撮影で瓦屋根が続く通り。人の動きに変化があり町の情景がよくわかり、今日をよく表しています。

社員のモチベーションを高め 施工品質の高さで信頼に応える

株式会社 吉野組

野洲市八夫646番地2

代表取締役 吉野 勲

労働環境を改善し社員のやる気に応える

昭和32年創業の吉野組。平成22年に代表取締役就任した吉野 勲社長は、「建設業界の激変の時代に父から代表を引き継ぎ、少数精鋭で利益が出せる体質に改善するため、昔ながらのやり方を改めて、さまざまな改革に取り組んだ」と、これまでを振り返ります。

「建設業協会の青年部の活動を通して知り合った若手経営者が、時代の変化に対応していくために、さまざまな取り組みをしていることに刺激を受けた」と言う吉野社長。労働環境や待遇を改善して働きやすい会社にする中で、社員のモチベーションを高め、社員が一つになって体質強化を図ることを目指しました。

例えば、社員旅行やリフレッシュ休暇などの福利厚生充実を力を入れるほか、子育てしやすい職場になるよう、子育てサポート企業として県の「くるみん認定」を取得、最近では「イクボス宣言」も行いました。

そして、公共工事だけに頼らず、民間の造成工事にも力を入れ、工事の品質にこだわった結果、業績が大きく改善しました。滋賀県優良工事表彰の「知事賞」受賞など、数多くの受賞実績からも、施工品質の高さが証明されています。

学校の補修や職場体験などで地元に貢献

地域貢献にも積極的に取り組み、野洲市内の小中学校のグラウンドの補修や保育園の排水対策をボランティアで行ったり、小学校でかまどベンチを作る体験授業を行うなど、技術を活かした活動をしています。また、市内小学校への図書費の寄付や美知メセナなどの環境活動、植樹事業などにも協力してきました。

今後の建設業を担う次世代の育成として、職場体験「チャレンジウィーク」で中学生を受け入れたり、高校生を対象とした現場見学会なども実施しています。

うえで、報告、連絡、相談のいわゆる「報連相」を基本にして、自己管理・自己責任を徹底させることで、個人の成長につながっています。

社内の新しいプロジェクトや地域への貢献活動などは、それぞれ3〜4人のグループが中心となって取り組むことで、だれもが責任を持って自分の役割を果たせるようになるだけでなく、競い合って、社内が活性化していると評価します。

月に一度は全社員で大掃除を実施しているだけあって、社屋も倉庫も整理整頓が行き届き、美しく快適なオフィスは建設業のイメージを変えるほどのです。また、整理整頓が安全や品質につながると、現場でもつねに掃除を徹底しています。

「人をちゃんと使うことができたらビジネスは成功すると、父からよく言われてきた」という吉野社長は、家族的な社風を大切にしたい、一人ひとりの社員だけでなく、その家族にも心配りを行ってききました。

あたりまえのことをきちんと実行しながら、社員全員で切磋琢磨して結果を出していきたいと、来年の60周年に向けて、さらなるステップアップを目指しています。



県の「美知メセナ」活動にも参加、地域の環境美化にも取り組んでいる。



施工例：大津能登川長浜線道路整備工事



施工例：新野洲クリーンセンター造成工事



施工例：家棟川補助通常砂防工事



社屋

新卒採用、人材育成にも意欲的に取り組む

これまで同社では経験者を採用してきましたが、今年から新卒の採用に踏み切り、将来の吉野組を担う若手の育成にも取り組み始めています。今年2名の新卒が入社し、来年も1名採用することが決まりました。

人材育成では、社員の自主性を尊重した

「チャレンジウィーク」では、建設業に興味を持ってもらえるよう、現場での測量体験などのメニューを工夫したところ、参加した中学生から、大人にならなければいけないという思いが込められています。



小学校の社会科見学として行われた現場の見学会



職場体験「チャレンジウィーク」で測量を体験する中学生



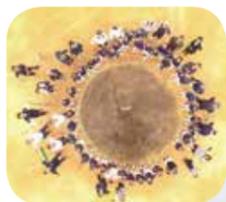
整理整頓が行き届いた倉庫



新卒採用の新入社員入社式



ボランティアで行った保育園の排水工事



野洲市内の小中学校のグラウンド整備を行った後、小学生の野球チームと同社のチームが親善試合を行った。



社員旅行やバーベキューを行って親睦を図っている。



「イクボス宣言」「くるみん認定」を取得して、仕事と家庭の両立を応援している。



吉野 勲社長

「湖魚食文化」の普及をめざして “琵琶湖八珍”マイスターに登録



奥村吉男専務がモデルを務めた
琵琶湖八珍のポスター



株式会社 奥村佃煮
近江八幡市多賀町400番地
0748-32-7833
http://okumura-tsukudani.com/



“琵琶湖八珍”マイスターとして登録する近江佃煮 遠久邑



琵琶湖産の魚介類にこだわりたいという奥村龍男社長

また、琵琶湖産のものにこだわるとどうしても価格が上がってしまうため、今、おみやげとして販売されている佃煮には琵琶湖産でないものが多く使われています。同社が琵琶湖産にこだわるのは、このまま琵琶湖の湖魚

琵琶湖の周辺では、かつては多くの家庭で鮒やその他の魚を使ったなれ鮓を漬けたり、佃煮を炊いたりしていました。鮒寿しは晴れの日のご馳走に、佃煮や湖魚の煮付けは普段の食卓に欠かせないものとして、長い年月をかけて琵琶湖の恵みを活かした「湖魚食文化」が形成されていきました。

近江佃煮 遠久邑では、沖島の漁師と契約して、毎日新鮮な湖魚を仕入れて加工しています。ふな寿しになるニゴロブナのほか、アユやモロコなど、扱う商品の90%以上に琵琶湖産の魚介類を使っています。



沖島産の新鮮な湖魚でていねいに炊き上げられた佃煮

健康に良い食品としても注目されている鮒寿し

おいしいだけでなく、最近の研究で鮒寿しには、整腸作用や美肌効果のほか、血圧を下げる効果があることもわかってきました。これからは健康によい食品としてもアピールしていきたい。本当においしいものを販売すれば、必ずリピーターになってくれる人がいるはず」と言う奥村社長。

同社では、滋賀を訪れる観光客などを誘致して湖魚のおいしさをアピールしていくため、新たに加工場兼店舗を新設しました。現在、香港のバイヤーとも商談が進んでいて、米や日本酒のように、日本の湖魚食文化を世界に伝えていくことができると期待を寄せています。



健康に良い食品としても注目されている鮒寿し

八つの食材を八つの円形で表現した琵琶湖八珍のロゴマーク

【琵琶湖八珍のWEBサイト】 <https://shigaquo.jp/hacchin/>

琵琶湖の魚介類のブランド化をめざす“琵琶湖八珍”

滋賀県農政水産部では、びわ湖を特徴的に表す8種の魚介類「ビワマス、コアユ、ニゴロブナ、ハス、ホンモロコ、イサザ、ゴリ（ビワヨシノボリ）、スジエビ」を「琵琶湖八珍」として選定し、利活用を促進するためのブランド化事業に取り組んでいます。

「琵琶湖八珍」の目印となるロゴマークとイメージポスターを作成してメディアなどへのPRを行うほか、「琵琶湖八珍」を紹介し、買ったり食べたりできるお店を案内するWEBサイトを公開しています。

また、「琵琶湖八珍」を利用・提供しているお店を「琵琶湖八珍マイスター」として登録、イメージポスターや登録ステッカー、ノボリなどのツールを配布するほか、琵琶湖八珍の新たな商品開発をサポートする取り組みも行っています。

夢 Interview

小さな文具店を出会いや交流の場に

米原市出身の夫と知り合い、神奈川県から滋賀県に移り住んだ岡田友美さん。昔からかわいいカードや文房具が好きで手づくりのハンコや封筒のブランドを立ち上げた友美さんは、昨年、夢を叶えて大好きな文房具を集めた小さな文房具店を米原市春照に開店しました。



かつては理髪店だったなんとも趣きのある建物



座ってほっこりお茶を飲むスペースも設けられている



タイルの流しも理髪店のなごり かわいい便箋やカードなどが集められている

●ご主人との出会いが縁で滋賀にいられることになったのです。

東京で音楽活動をしていた主人と知り合い、自分には都会より地方のほうが合うかなと思っていたので、いつかは生まれ育った滋賀県に戻りたいと思っていた主人と出会い、ラッキーという感じでした。

●お店を始める前から、ご自身のブランド（佐々木文具店）を立ち上げて、文具を作っておられたそうですが、

もともと手を動かして何か作ったり、文字を書いたりするのが好きで、学生時代からちょこちょこ作っていたのですが、琵琶湖をモチーフにしたポストカードを作ったところ、「それいいね」「私にも作って」と言われて文房具を作るようになりました。

●その後、長年温めてきた夢をかなえられたわけですね。

オーブンは一昨年の10月でした。ちょうど太鼓踊りがある年で、出会いから5年経ってようやく開店に至りました。長く使われていなかったの、傷んでいるところもたくさんありましたが、できることは夫や友人に手伝ってもらい、台所の改修などは大工さんをお願いしました。

●オリジナルの商品のほか、どんなものを置いておられますか。

便箋、レターセット、はがき、シールなど、手紙に関連したものをメインに集めています。それ以外は私が好きなもの、友人が作った下

●文具店を始めようと思ったのは、

なんとなく手紙用品を扱うお店ができたらしいなと思っていたのですが、この春の集落で5年に一度行われる太鼓踊りを見に来て、この建物を見て一目惚れしました。以前は理髪店で、長い間空き家になっていたのですが、このたたずまいで店の前にポストがあるの、これは文具店にぴったりだと思いました。でも、その時はいつかできたらいいなという感じでした。



佐々木文具店店主 岡田友美さん

○おかだ ゆみ
1986年生まれ。神奈川県出身。幼少期より手先を使った作業が好きで、なかでも紙を扱うのが得意。イギリスで中学時代を過ごしたことをきっかけに田舎暮らしに興味を持つ。大学在学中に現在の夫と出会い、卒業後は滋賀の文具メーカーに就職、商品企画の仕事に携わる。退職後、出産を経て、2014年10月佐々木文具店を開業。

●これからのような展開ができるの楽しみですね。

この秋には会津木綿でもんぺを作ってる友人が、ここで展示会をしてくれる予定です。また開店から2年経ったので、新しいことをしたいと思って、安心な食材などを販売する小さな市やランチを始める準備もしています。

〒521-0314 米原市春照469番地
TEL: 080-1506-1580
営業は日曜日11:00~16:00(夏期17:00)
ホームページ: <http://sasakibungu10.wix.com/sasabun>

「生き物を守り育てる河川ウォッチング」を実施

6月17日(金)、青年部が甲賀市立伴谷東小学校小学の5年生58名を対象に、CESA(Construction Eco Spirit Association)プログラムの環境郊外学習を行いました。環境保全に配慮して行っている公共工事について学んでもらおうと、4年前から実施しているものです。

桑原委員長のあいさつ後、小学校近くの思川でゴム堰堤を見学、ゴムの風船を膨らませたり、萎ませたりして水位や流量を制御し、大雨による洪水を防いだり、田畑へ水を供給する仕組みを説明しました。

その後、学校へ戻り、外で学んだことの復習とともに、現場周辺に生息する身近な植物の生態系について勉強した後、山の水、川の水、琵琶湖の水の飲み比べ実験を行いました。

また、校外学習の記念として、オリジナルエコバッグづくりを楽しみました。



滋賀県建設業協会や滋賀県建設青年会議などの動きについてご紹介するコーナーです。協会広報委員会のフェイスブックもあわせてご覧ください。

夢けんひろば

滋賀けんせつみらいフェスタ2016

10月23日(日)
大津港で開催!!

10月22日(土)、23日(日)、大津港業務用地で『滋賀けんせつみらいフェスタ2016』が開催されます。

フォトコンテストや作文コンクールの表彰式、ご当地アイドルユニットのミニコンサートのほか、建設機械の試乗体験、親子丸太切り競争やミニテトラポット製作体験(どちらも要事前予約)、環境体験教室など盛りだくさんのイベントが開催されます。

10月22日(土)にはフォトコン・絵画の作品の展示や、防災かまどベンチの設置やドローン飛行なども行われます。

模擬店やプレゼントも多数をご用意しています。楽しい体験や展示を通して、建設業の今と未来がわかる『けんせつみらいフェスタ』に、ご家族でぜひお出掛けください。

主催/滋賀県建設産業魅力アップ実行委員会 問い合わせ/077-522-3232



第4回婚活パーティーを開催

青年部の主催で第4回目となる『オトコらしい男が集まった婚活パーティー』が、9月3日(土)にフェリエ南草津で開催されました。

男性は23歳から40歳の協会会員企業の社員限定で、職場ではなかなか出会いの少ない建設業で働く男性に、出会いの場を設けたいということで開催されたものです。

当日は男女30名が参加。オープニングで男性参加者の仕事風景を映像で紹介した後、1対1会話、印象度チェック、フリートークタイムなどを行って、最終的に8組のカップルが成立しました。

第53回滋賀県建設界野球大会開催

8月20日(土)、第53回滋賀県建設界野球大会が開幕、皇子山球場で開会式が行われました。

9月3日(土)、9月17日(土)と試合が行われ、決勝戦ではエルアイシーが3-0でマグナムメイドサービスを下し、2年ぶり3回目の優勝に輝きました。また、最優秀選手賞には小西隆市選手(エルアイシー)、敢闘選手賞には多賀敬亮選手(マグナムメイドサービス)が選ばれました。



講演会「建設産業の新たなステージ ~i-Construction~」

9月13日(火)、夢けんプラザにて、青年部の主催による「建設産業の新たなステージ ~i-Construction~」と銘打った講演会が開催され、多くの県内技術者が聴講しました。

深刻化する建設従事者や熟練技術者の不足、人口減少に伴うインフラ投資予算の縮小、維持修繕や災害対策強化を初めとする工事の増加という課題を乗り越えるために、ICT技術を活用して生産性を向上させる取組~i-Construction~について立命館大学理工学部の建山和由教授より、ご講演を賜りました。



新入社員フォローアップセミナーを開催

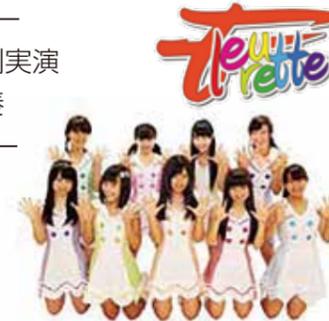
9月13日(火)と21日(水)の2回に分けて、建設会社に入社して1年未満の新卒・中途採用の社員を対象としたフォローアップセミナーを開催しました。

新入社員の多くが抱える“悩み”や“戸惑い”を解消することを目的に、しがぎん経済文化センターのインストラクターが講師を務め、セルフチェックや仕事の基本の振り返り、コミュニケーション能力の高め方などを、体験的に学んでいただきました。



ステージイベント

- 「フルーレット」ミニコンサート
- キャラクターショー
- チェーンソー彫刻実演
- ブラスバンド演奏
- ジャグリングショーなど



実演コーナー

- 親子丸太切り競争(要事前予約)
- ミニテトラポット製作体験(要事前予約)
- 環境体験教室
- 工事現場見学会
- ベニヤドームづくり
- オリジナルパズル作り
- 宝石さがし
- ミニショベルお菓子づくりなど



機械試乗体験コーナー

- 高所作業車、バックホウ、移動式クレーンの展示と試乗体験
- 展示車両運転席での写真撮影
- ミニバックホウによるヨーヨーすくいとボールすくい



模擬店・プレゼント

- 各種飲食・販売ブース、移動販売車(有料)
- スーパーボールすくい
- ヨーヨー釣り
- 花の種、ヘリウム風船、各種カタログの配布
- コンクリートクイズ



※そのほか、住宅建築やリフォーム、耐震などの相談会(要事前予約)、フォトコンテストや絵画コンテスト作品や、各種パネルの展示コーナーもあります。



前号の答え
危機管理

パズル&クイズ当選者

- 福永 靖子さん
- 藤森 康郎さん
- 宇田由紀子さん
- 前河さおりさん
- 橋爪 翔子さん
- 山下 達也さん
- 上村 公子さん
- 柳本 竜一さん
- 木下 俊晴さん
- 藤原 昭文さん

応募方法

- P&Q及びアンケート(返信用添付ハガキ)の両方にお答えいただいた方の中から抽選により粗品を進呈します。ふるってご応募ください。
- 別のハガキにてご応募の方も住所、勤務先(学校名)、氏名及びP&Qの答え、アンケート、メッセージ等を書いて送付してください。
- 締め切り
平成29年1月20日必着
- あて先
〒520-0801
大津市におの浜一丁目1-18
(一社)滋賀県建設業協会 広報委員会

大津市枝にある「Rio Pies」は、オーストラリアやニュージーランドでは、アメリカのハンバーガーや日本のおにぎりのようにポピュラーな「オーストラリアン・ミートパイ」の専門店。オーナーの上月晋吾さんは、ニュージーランドとオーストラリアに在住していた時に、よく食べたミートパイの味が懐かしくて、なんとか再現したいと、まずパン作りからスタートして、オリジナルのレシピを考案しました。

手間暇かけて手作りの生地は、焼くとサクサクと軽やかな歯ごたえに。中に入っているフィリングは、オージールビーフを使って自家製のひき肉を作り、ローリエなどのオリジナルスパイスを入れて長時間煮込んだもので、ジューシーなお肉の旨味が詰まっています。



オーストラリアン・ミートパイ 350円



ミートパイセット 600円

Rio Pies (リオ パイズ)
大津市枝3-18-1
077-546-4377
10:30~18:00 (夏季)
~17:00 (11月より)
火曜日定休
<http://www.rio-meatpie.com/>

の、カーパイやベーコンエッグパイ、チリコンカンパイなど13種。店舗では、焼きたてのパイにマッシュポテトを添えた本場オーストラリアで人気の食べ方が楽しめます。

上月さんは日本ではまだあまりなじみのない「オーストラリアン・ミートパイ」を普及させたいと、移動販売車でイベントに出店するほか、ネットショップで冷凍のパイを販売しています。「滋賀の片田舎が日本のミートパイ発祥の地となり、いつか誰もが知っている食べ物になってほしい」と上月さん。

また、上月さんは、オーストラリアの手づくりビール・キットの販売も手がけています。オーストラリアではスーパーなどでも販売されている、家庭で簡単に美味しいビールが作れるキットです。湖南アルプスに近い自然がいっぱいのお店では、自家製ビールの試飲も行っています。



本格ビール・キット

仕事の達人、遊びの達人 私のオフタイム

充実したオフを求めて
サクソや第九にチャレンジ

株式会社桑原組 谷口 稔



練習の成果を披露する谷口さん

阪城ホールで開催される「サントリー万人の第九」に、コーラスをやっている妻が出演するというので、会場に足を運んでみると、観客より出演者のほうが圧倒的に多くて、会場で歌声に包まれるような迫力のある演奏にとても感動しました。「自分も歌ってみたい、これは参加するしかない」

高島市を拠点に活動している社会人ジャズバンド「BIG BE L」の演奏を聴きに行ったことがきっかけで、四十の手習いよろしくアルトサクソの練習を始めました。超初心者のための音楽クラブ「管楽器クラブ」に入って、市内の高校の吹奏楽の先生の指導でレッスンを受けた。

昔、吹奏楽をやっていた人、私のようにまったく経験のない人など、さまざまなメンバーが集まって練習するのが楽しく、普段は交流することのない異業種の方たちとも知り合いになりました。ロビーコンサートで演奏を披露できたことも励みになりました。また、毎年、総監督・指揮に佐渡裕さんを迎えて大阪



管楽器クラブの練習風景

これから忙しい仕事の合間に、できるだけ機会を設けて、いろいろなところに出かけて行ったり、新しいことにチャレンジしたりできればと思っています。



チヌ(クロダイ)を釣り上げた谷口さん

と翌年には、妻と娘の3人で、次の年には息子と2人で出演しました。

もう一つは、たまたま知人に誘われて初めて行った海釣り、釣りの新聞に名前が載ってしまうほど、小アジが大量に釣れて、それがきっかけで釣りにはまってしまいました。以来、年に一度は社内の釣り仲間を誘って、福井県大飯にある釣り公園で、大物狙いを楽しんでいます。



息子さんと出演した2013年の万人の第九

After Word

広報委員会は、新メンバー3人を含め、3ヶ所の取材に行ってきました。まず最初は、近江八幡市の近江佃煮庵 遠久邑です。「琵琶湖八珍」の一つであるホンモロコ、イサザ、コアユなどの佃煮を試食しました。ビール片手にといきたいところですが、そこはガマンガマン。せめてあったかいご飯と一緒に食べたらおいしいうらなあ…。

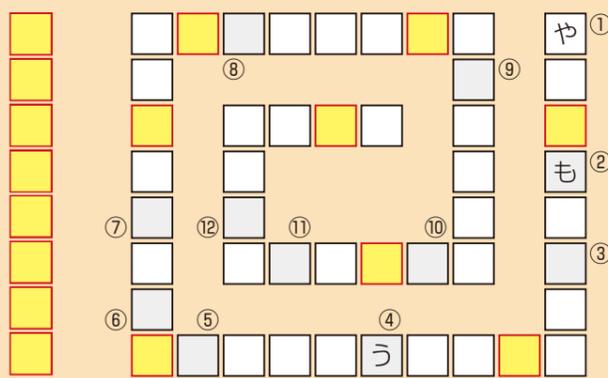
次は、長浜市の道の駅「浅井三姉妹の郷」です。ここでは、ジャージー牛乳のジェラートを店長さんから頂きました。とても濃くて味わい深く癖になりそうでした。また、自分のお店を持ってみたい人にその夢の第1歩を踏み出してもらおう場所として「チャレンジショップ」という制度がありますので、興味のある方はお問い合わせください。

最後は、米原市にある佐々木文具店です。元は散髪屋さんだったところに、文具店としてオープンされました。東南アジア製のレアな文具がならんでいます。フーちゃん(店主の娘さん)可愛かったです。

広報委員会は、建設業のイメージアップや若い入職者が増えるように頑張っていきます。今後ともよろしくお願いします。

季刊夢けんせつ秋号

2016年(平成28年)10月10日
通巻第684号
発行 一般社団法人滋賀県建設業協会
〒520-0801 大津市におの浜一丁目1-18
TEL.077-522-3232(代)
FAX.077-522-7743
<http://www.yumeken.or.jp>
企画編集 広報委員会
協力・印刷 宮川印刷株式会社



- 栗より甘い…
- 酢の物にすると美味しい海藻
- おなじみの栗を使った和菓子
- 関西発祥のうどんを使った鍋料理
- 大豆を煎ってひいた粉
- 力カオで作った飲み物と言えは?
- 中華の定番デザート
- ハンバーガーといっしょに食べたい…
- パスタの基本のソースの一つ
- 厚切りの肉や魚を焼く料理
- 日本でもポピュラーなコリアンフード
- 青梗菜と書いて?



パズル クイズ
美味しものをつないで、しりとりを完成させてください。
□を組み合わせると、「ヒント」特集「話題の焦点」

